

モンゴリアンクラブ

No.43 2025/3/1
発行：鳥取県モンゴル
中央県親善協会

日本語学級の子ども達元気です！

2024年夏は日本語学級から10名の子ども達と学級の先生が青少年交流事業で来県しました。帰国後、子ども達は後輩の指導もしているようです。日本語学級恒例のクリスマスパーティを楽しんだ様子を送ってくれました。



日本語学級の本棚には日南町から2024年3月に寄贈された絵本や漫画。2000冊を入れ替えながら設置。子ども達の人気コーナーです。

日本語学級で学習している様子です。

鳥取に来る子どもは日本語検定N5合格が条件ですが、鳥取からモンゴルに帰った子どもの中にはN4に挑戦して合格した子もいます。いつも20数人が通っています。

子ども達が互いに教え合う様子を見たオトゴンチメグ先生が、4人で向き合う席の配置を考えました。



第15回モンゴル友好交流の翼を実施。参加者募集中！

2025年7月19日(土)～26日(土) 鳥取空港及び米子空港発着
詳細はチラシをご覧ください

鳥取県とモンゴル中央県との交流の始まり

鳥取県とモンゴル中央県は、1997年に両県による友好交流の覚書を交わしました。その翌年に民間の友好交流団体として当協会を設立しました。交流のきっかけを新聞記事でご紹介します。

1994年6月28日付け日本海新聞



< 1 >

鳥取県議会モンゴル訪問団(団長・松原一男県議会自民党会長、十三人に加わってモンゴルを訪ねた。モンゴルは環日本海経済交流圏に含まれているものの、地方議会レベルの交流はまだ緒にたばかり。今後の交流の契機をつくるとして、鳥取県関係団体死傷者の遺族、シャバンエキスポへの出展要請などが主要な目的だった。訪問団の活動ぶりとその成果、民主化と市場経済移行に取り組み中で、アジア寄りの姿勢を明確に示しつつあるモンゴルの実情を報告する。

村上徹夫政経部長

眼下にゴビ砂漠
われわれを乗せたモンゴルの首都・ウランバートルの中国民航機ボーイング737型機はほぼ満席。北京をたつてはほぼ一時間、陰山脈を越えたと眼下に一帯黄褐色のゴビ砂漠が広がる。機が北上するに従って平原に起伏の波が見られるようになり、(か)れ川だらうか、少し緑を帯びた畑い線が見える。さ

草洋の国

唯一の国際空港
着陸した空港はモンゴル



澄んだ空気に「うまい」



一面に広がる大草原。遠くに馬や羊の群れが見える(ウランバートルと中央県境あたり)

どこまでも続く大草原

月別の平均気温は最も暑い七月が一六・七度、最も寒い一月はマイナス二〇・九度。年較差は二〇度強の東京の二倍近い三七・六度にものなる。

ウランバートルから中央県の東部・ソイモツ市への四十五キロほどの道のりは、行けども行けども一面の大草原だ。遠くに豆粒のように馬や羊が見える。羊の群れには一、二割のヤギが含まれている。懐病で集団性に乏しい羊の群れにヤギを放つとヤギがリーダー役を務め、オオカミに襲われてもヤギは敢然と立ち向かうという。

ゴルフ好きの団員からは「ここならゴルフ場の造成費はかからない。旗さえ立てれば即ゴルフ場だ。OBの心配はないし最高だ」と歓声がある。確かに、牛や羊、ヤギに食われた草は、ゴルフ場のセミアフの長さもなく、一面がフェアウェイの感じだ。モンゴルがまさしく「草洋の国」であることが実感させられた。

気が「うまい」と言った。何となくせかされることも度も海外旅行を経験していない。入国ではすっかり時差を調整して、この間、早速写真撮影。空港職員に制止され、スクワ間に週二往復の七往復だ。加えて海洋から遠く離れた中央アジアの東部に位置し、内陸性気候のため雨量が少ないことと冬と夏、昼と夜の温度差が大きいのが特徴だ。

年間降水量は約三〇〇ミリ、東京のほぼ五分の一、鳥取の六分の一。特に十一月から四月までは月平均で一〇ミリに満たない乾季だ。

ウランバートルは北緯四八度あたりに位置する。北海道よりもっと北、ロシアのハバロフスクとほぼ同じ緯度だ。

目的の空港ビルまでは、ウランバートルの国際線便は北京間に週五往復、モスクワ間に週二往復の七往復だ。

友好交流の翼では、毎回、ウランバートル郊外にあるダンバダルジャー日本人墓地跡参拝と記念植樹を行います。今年の翼では、日本人抑留者が強制労働で建設した公共施設を見学する予定です。関連記事をご紹介します。

1994年11月25日付け 日本海新聞

散歩道

最近モ
ンゴルの
ことをテ
レビや新
聞で見る
ことが多
くなっ

当時を回想するとき、悲
惨な敗戦の姿と丸太の塙
で囲まれた収容所の風景
がよみがえるだけで、心
を潤す感懐はなかった。
昭和十九年、私は三回
目の赤紙召集で北支の黄
河北岸の部隊に入った。
一年後、急に部隊の移動
命令で満州(中国東北部)
に入り終戦を

迎えた。当時
のソ連は不法
にも約六十万
の日本人を捕
虜としてシベリアに送っ
た。そのうちの一万五千
人をモンゴルに配した。
二年余の抑留で一千六
百人が死んだ。なぜシ
ベリア、モンゴルに至る
広大な地域で奴隷労働に
服さねばならなかったの
か。日本が侵略のつくな
いとして、やむを得なか

ったと言っ論もあるが、
あまりにもひどい考え
で、言いがたい感情を持
っている。ここに強制労
働の残酷さを書く気はな
い。訪問団同行記の(4)
に事実が記されてある。
先年故人となられた胡桃
沢耕史作家の直木賞受賞
作となった「黒パン俘虜
」によってど
れだけ慰め
られたか、
生きて帰れ
る自信のな
い逆境下、せめてこの一
冊を日本人の心とし、モ
ンゴルから祖国の復興を
行りたい、また死んで行
った多くの同胞に鎮魂の
歌としてこの地に残した
いと云った。

あれから約半世紀、何
もかも時代の波に流され
忘れられてしまった。ソ
連は崩壊し、モンゴルは
民主化と市場経済移行に
取り組んでいると言う。
鳥取県とモンゴル中央
との姉妹提携についてモ
ンゴル訪問団長は知事に
具申したことが報せられ
た。今後モンゴルとは何
らかの形で交流が盛ん
になるだろう。モンゴルを
訪れる人たちが、いまな
お煉瓦壁の中に眠る万葉
集の心に触れていただけ
れば幸いである。

モンゴル図書館の 煉瓦壁に眠る万葉集

た。六月にNHKがはる
ばる世界旅「大草原はる
かモンゴル春紀行」を放
映し、鳥取県議会訪問団
同行記「モンゴル見たま
ま」が六、七月日本海新
聞に掲載された。近代社
会の中にあつてなおゲル
(包)の生活を愛し、馬の
上に生まれ馬の上に生き
る放牧の民、草原で悠々
と暮らす牧歌的な姿に口
マンを感じられた方もあ
ったのではないかと思つ
つたのではないかと思つ
つたのではないかと思つ
つたのではないかと思つ
つたのではないかと思つ

前強制抑留されていた。
食い入るように放映をみ
つめ、記事を読みながら
記」のモデルはモンゴル
の収容所である。五年た
てば全滅すると思つた。
モンゴルの公共建物は
ほとんど日本人捕虜が手
がけた。国立図書館の就
役で私は煉瓦(れんが)
積みの手元(雑役)をし
ていた。相棒は境港市出
身の日氏で実に器用な人

この方葉集は国立図書
館正面玄関あたりの煉瓦
壁に空間を作ってモルタ

この方葉集は国立図書
館正面玄関あたりの煉瓦
壁に空間を作ってモルタ

(倉吉市谷、農業、西
原明治、78歳)



ホーショール

中に肉と玉ねぎが入っています。

2024年11月10日（日）に倉吉市伯耆しあわせの郷でくらし国際交流フェスティバルが開催され、食べ物ブースにモンゴルではお馴染みのホーショールの揚げたてを販売しました。

モンゴルから研修で来県していた若者数人が「美味しい！」とお代わり。楽しい交流ができました。

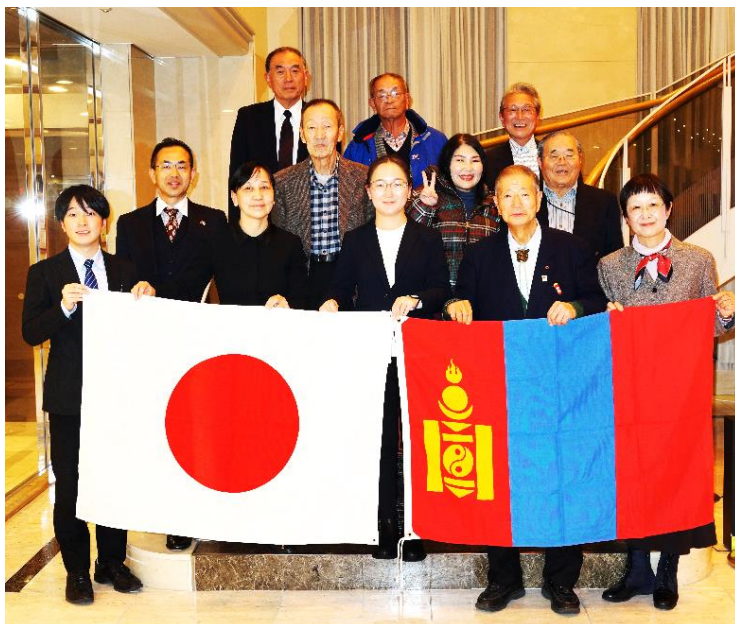


モンゴルの他、米・仏・ベトナム・モロッコ・韓国など世界各国の食べ物が販売されにぎわいました。

モンゴル中央県行政研修生と懇親会

2024年12月9日（月）～14日（土）の日程で、県が毎年実施している人材育成の行政研修があり、モンゴル中央県管理部から2名女性の研修生が来県しました。

12月12日（木）に当協会が歓迎の懇親会を開催しました。



会場の米子ワシントンホテルで集合写真

＜石黒理事あいさつ＞

『鳥取県は日本で1番人口が少ない県ですが、総理大臣、全国知事会会長を担うなど、日本をリードする要人を輩出している県です。』

研修生2名は出された料理を美味しい美味しいと全部たべられましたが、カニを食べていただくことができず、少し残念でした。

また、重いのにモンゴルのお土産を沢山頂きました。ウオッカ、チョコレート、可愛い小さな馬頭琴など。